

2024年3月期 決算説明会

2024年 5月15日

代表取締役会長 早河 洋

 ×  東映株式会社

新たなエンターテインメントの創造に向けた
“パートナーシップ”を構築！

新しい次元のパートナーシップを推進し
新しい時代に適応するIPビジネスを加速する

コンテンツ制作

- 連続テレビドラマ 共同制作プロジェクト
- 大型劇場用映画 共同製作プロジェクト
- 新規IP開発プロジェクト
- 時代劇開発プロジェクト
- 映像テクノロジーの共同研究、開発

時代劇開発プロジェクト例

君とゆきて咲く
— 新選組青春録 —

4/24 スタート 毎週水曜日深夜0時15分～ 放送
「スーパーバラバラ大作戦」枠 《シン・時代劇》

 ×  東映株式会社

グローバル展開

- 世界配信を前提にしたコンテンツ制作体制の構築

イノ等成長が期待できるマーケット

メディアシティ／リアルエンタテインメント

- 東映太秦映画村、東京ドリームパークの相互営業協力



人事交流

- 幹部役職員の相互交流
- 若手社員の相互交流・人材育成

ステアリングコミッティの設置

動画配信やグローバルに適応できるIPビジネスを推進

連結業績

(単位:百万円)	2022年度	2023年度	前期比	増減率
売上高	304,566	307,898	+ 3,332	+ 1.1%
営業利益	14,503	12,337	△ 2,165	△ 14.9%
経常利益	23,157	19,919	△ 3,237	△ 14.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	16,603	17,138	+ 534	+ 3.2%

広告市況は停滞も増収、営業利益は減益、
当期純利益は特別利益の計上により増益

経営計画2023-2025

BREAKOUT STATION!

新しい時代のテレビ朝日



定量目標

視聴率



TRIPLE CROWNS !

2025年度までに年間・年度での個人全体視聴率 **3冠達成!**

連結業績

2025年度までに

売上高
3,300億円

営業利益
200億円

経常利益
250億円

親会社株主に帰属する当期純利益
200億円

を目指す

成長投資

戦略投資枠 **500億円**

2023年度 視聴率実績

【個人全体】2年連続の全日・P帯2冠達成！ 【世帯】2年連続の全日・G・P帯3冠達成！

個人全体		テレビ朝日	日本テレビ	TBS	フジテレビ	テレビ東京
	全日 (6-24時)	①  3.5 (-0.1)	① 3.5 (-0.1)	③ 2.7 (-0.1)	④ 2.3 (-0.1)	⑤ 1.2 (+0.0)
	ゴールデン (19-22時)	② 5.3 (-0.3)	① 5.6 (-0.2)	③ 4.2 (-0.1)	④ 3.6 (-0.2)	⑤ 3.1 (-0.1)
	プライム (19-23時)	①  5.3 (-0.3)	② 5.2 (-0.2)	③ 4.1 (-0.1)	④ 3.5 (-0.3)	⑤ 2.7 (-0.1)
	プライム2 (23-25時)	② 1.8 (-0.2)	① 2.6 (-0.1)	③ 1.7 (-0.1)	④ 1.5 (-0.2)	⑤ 0.7 (+0.0)

世帯		テレビ朝日	日本テレビ	TBS	フジテレビ	テレビ東京
	全日 (6-24時)	①  6.3 (-0.3)	② 6.1 (-0.3)	③ 4.8 (-0.3)	④ 4.0 (-0.3)	⑤ 2.1 (-0.2)
	ゴールデン (19-22時)	①  8.9 (-0.6)	② 8.8 (-0.5)	③ 6.7 (-0.3)	④ 5.7 (-0.5)	⑤ 5.2 (-0.3)
	プライム (19-23時)	①  9.0 (-0.6)	② 8.3 (-0.5)	③ 6.6 (-0.4)	④ 5.7 (-0.5)	⑤ 4.6 (-0.2)
	プライム2 (23-25時)	② 3.5 (-0.2)	① 4.8 (-0.2)	③ 3.2 (-0.3)	④ 2.8 (-0.4)	⑤ 1.4 (-0.1)

※ 2023年度視聴率期間：2023年4月3日～2024年3月31日

※ ○の数字は民放順位、下段の()は前期比 (出典：ビデオリサーチ調べ)

2023年度 視聴率トピックス

報道情報

- ◆ 「報道ステーション」「サタデーステーション」「羽鳥慎一モーニングショー」「大下容子ワイド!スクランブル」は同時間帯トップを獲得
- ◆ 「グッド!モーニング」は初めて同時間帯民放トップを獲得

ドラマ

- ◆ 火曜・水曜・木曜の21時台が好調に推移
- ◆ 「相棒」をはじめ、「特捜9」「刑事7人」など人気シリーズを中心に5作品が民放連続ドラマの年間トップ10内にランクイン
- ◆ 見逃し配信では「離婚しない男」初回放送が424万回を記録、当社歴代最高

バラエティ

- ◆ 「ザワつく!金曜日」が23年度すべての放送回で同時間帯民放トップを獲得
- ◆ 「マツコ&有吉 かりそめ天国」「池上彰のニュースそうだったのか!!」「ポツンと一軒家」が同時間帯トップを獲得
- ◆ 見逃し配信では「アメトーク」「あざとくて何が悪いの?」「夫が寝た後に」が好調

スポーツ

- ◆ 「FIBAバスケットボールW杯2023」『日本×カーボベルデ戦』(15.3%)
- ◆ 「AFCアジアカップカタール」『日本×イラン戦』は23年度プライム帯の民放最高視聴率を獲得(15.6%)
- ◆ 「MLBソウルシリーズ」特に『ドジャース×パドレス戦』が高視聴率を獲得(10.6%)

※視聴率実績 個人全体

広告収入 スポットシェア拡大

スポットシェア **23.2%**
 スポットシェア前期比 **+0.8pt**

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
スポット収入増減率 (前期比)	△8.9%	△14.1%	+17.8%	△3.3%	△2.5%
東京地区投下量 スポットシェア※	22.6%	22.4%	22.2%	22.4%	23.2%
前期比増減	△0.6pt	△0.1pt	△0.2pt	+0.2pt	+0.8pt
スポット収入 民放順位	2位	2位	2位	2位	2位

※ スポットシェアは推計

タイムテーブル(4月改編)

	月	火	水	木	金	土	日
19時台	帰れマンデー 見つけ隊!!	出川一茂ホラン☆ フシギの会	朝メシまで。	楽しく学ぶ! 世界動画ニュース	ザワつく! 金曜日	博士ちゃん	ナニコレ 珍百景
20時台	10万円で できるかな	家事ヤロウ!!!	ミラクル9	林修の今知りた いでしょ!	かりそめ天国	ニュースそう だったのか!!	ポツンと一軒家 (ABC)
21時台	Qさま!!	Destiny	特捜9 season7	開局65周年記念 Believe -君にかける橋-	ミュージック ステーション	サタデー ステーション	サンデー ステーション
22時台	報道ステーション					ザ・ニンチド ショー	ミス・ターゲット (ABC)
23時台				アメトーーク!	JKと六法全書	東京タワー	EIGHT-JAM ※タイトル変更
	激レアさんを 連れてきた。	ロンドンハーツ	かまいガチ			6秒間の軌跡	
24時台	キョコロヒー	アンタウォッチマン!	くりいむナンタラ	テレビ千鳥	キッチンカー 大作戦!	傑作選等	チョコプランナー
	ハマスカ放送部	イワクラと吉住 の番組	君とゆきて咲く ~新選組青春録~			夫が寝た後に	有吉クイズ
25時台							
26時台					金曜日のメタバース	ワールドプロレスリング	熱闘! Mリーグ
27時台						NUMAnimation	バスケ☆FIVE
						(ABC)	Get Sports
					(ABC)		

4月クール of 滑り出し



【6話平均視聴率】
個人全体 4.1%

【初回 個人4.4%】



【6話平均視聴率】
個人全体 4.9%

【初回 個人5.4%】



【3話平均視聴率】
個人全体 6.2%

【初回 個人6.8%】



報道情報ベルト番組 好調を維持

コンテンツの収益化を強化

ビジネスソリューション本部



〈新設〉戦略タスクフォース

- 〈取組み例〉
- ・ **動画配信向けドラマ、企業 PR・CM 制作など**
「ジョージア 冬の2分ドラマ『毎日って、けっこうドラマだ。』」
(一話完結ミニドラマ×6本、地上波・動画配信展開、23年11月～12月実施)
 - ・ **テレビ朝日ドラマプレミアム「万博の太陽」「黄金の刻」での施策など**

さらなるアクセントのついた増収増益策を実行

インターネットの取組み

インターネットテレビ局



- WAU2,300万前後、引き続き好調に推移
- 大幅に収益改善し、黒字化へ前進
- ABEMA NEWS、MLBや海外サッカー等が人気、地上波スポーツ中継の連携強化
- テレビ朝日開局65周年記念音楽イベント「The Performance」の生中継も高い視聴UUを獲得

有料動画配信サービス TELASA

- SVOD本店として認知度向上し黒字維持、会員200万人目指す
- 地上波コンテンツ、スピンオフドラマ、オリジナルコンテンツを拡充、『Yuzuru Hanyu ICE STORY 2nd “RE_PRAY” TOUR』で生中継用映像や6つのマルチアングル映像を配信
- TELASA for Prime Video (Amazon プライムビデオ内)を開始

インターネットの取組み

オウンドメディア

チャンネル登録者数

400万人突破!

ありがとうございます!

これからも
24時間365日全力配信!

ANN
NEWS CH



ANNnewsCH ✓

@ANNnewsCH

チャンネル登録者数 400万人・9.9万本の動画



公式TikTokフォロワー数※
420万人



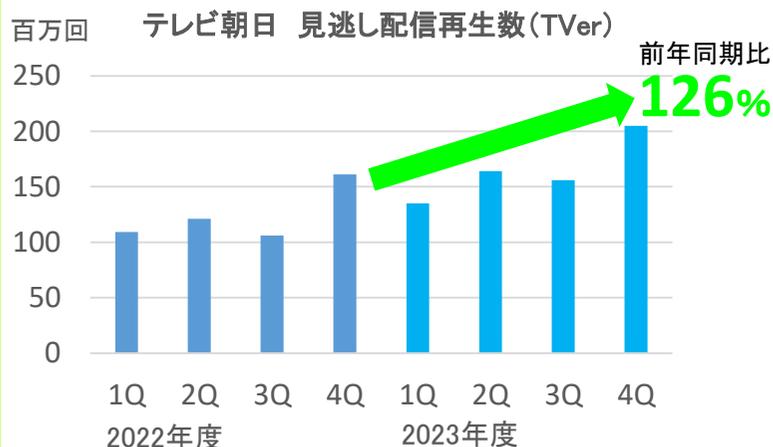
公式YouTubeチャンネル登録者数※
153万人

公式YouTubeチャンネル登録者数 **400万人突破**(2024年3月24日)

※登録者数・フォロワー数は2024年4月現在の件数

TVer

Ultra/Impression



- テレビ朝日のデジタル広告関連収入(TVer等)は5,873百万円(前期比+29.7%)、見逃し配信再生数とともに大幅拡大
- 動画広告配信プラットフォームは、新規のアドサーバー提供もあり、収益拡大

ショッピングの取組み

販路の拡大(売上拡大) + ヒット商品創出(利益率向上)

通販事業

- レギュラー番組「じゅん散歩」は高額商品や防災商品などの商品ラインアップが奏功し、過去最高の売上高を記録
- 食をテーマにした「ニッポンめしあがれ」や特番のリニューアルやリピート放送も好調
- BS朝日のテレショップ番組も好調に推移
- 店舗事業では東京駅店舗での番組連動・アニメ関連商品の販売が好調



ECの活用

- ロッピングのECサイト強化
- SNSの販促施策、ECモールへの展開等により顧客誘引を実施
- テレ朝ポイント施策等によりリピート購入や新規顧客を獲得



IP戦略

(株)テレビ朝日による資本業務提携(持分法適用関連会社化)



tv asahi

地上波放送、番組制作、動画配信、リアルイベント



良質なIPやコンテンツの開発・展開を強化



BookLive*

マンガ・IP創出、配信プラットフォーム

- アニメや実写化を目的としたオリジナルコンテンツの共同制作と二次利用展開
- 次世代クリエイターの獲得・育成等

CRAFTSMANSHIP KOTOBUKIYA

IPの商品化、ライセンス、販売

- オリジナルIPやコンテンツの共同開発・二次利用展開
- メタバースなど新領域でのビジネス展開

IP戦略 アニメ・ゲーム

スマートフォンゲーム「メテオアリーナ」

- (株)でらゲーとオリジナルゲームの共同開発
- 『モンスターストライク』など様々なヒットタイトルの開発に携わった、著名ゲームクリエイターの岡本吉起氏が総合プロデューサー
- 「アイ=ラブ！ げーみんぐ」との全面コラボを実施、「動画、はじめてみました」で最新開発状況紹介
- 24年夏提供開始予定



ゲーム

©でらゲー・テレビ朝日・ファンクルー

地上波



毎週土曜 深夜3時40分～

(※放送終了後、TVer・ABEMA・テレ朝動画にて無料配信)

インターネット



「動画、はじめてみました」

NUMAnimation

- 『僕の心のヤバイやつ』 第2期:24年1月クール
 - ・テレビ朝日が製作委員会の幹事、シンエイ動画が制作
 - ・海外販売で当社窓口権獲得作品としてNUMAnimation枠史上最高契約額を記録
- 『ブルーロック』 第2期:制作決定
 - ・スマホゲーム『ブルーロック Project: World Champion』(22年12月30日リリース)
 - ・映画『劇場版ブルーロック-EPIISODE 凧-』(24年4月19日公開)

資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応

現状認識

- PBRは1倍割れ(0.4~0.5倍程度)、ROEは概ね5%前後で推移している
- 資本効率の改善・向上は必須の経営課題

対応方針

- 経営計画に基づく「既存事業(放送)の深化」+「成長戦略の加速」を実現 **【成長の実現へ】**
- 貸借対照表の見直し・効率化等もあわせて実施
⇒ 資本効率の着実な改善へ **【効率化の実現へ】**

施策① 経営計画で掲げる“事業戦略”の推進

(経営計画の事業戦略)

(目指す姿)

<p>Television</p> <p>① 地上波戦略</p>	<p>最強コンテンツの編成テーブルを完成させ、2025年度までに年間・年度での個人全体視聴率 3冠達成!</p>
<p>Internet</p> <p>② インターネット戦略</p>	<p>ABEMA・TELASA・TVerなどでコンテンツのインターネット展開を拡大しマネタイズ・増収を図る</p>
<p>Shopping</p> <p>③ ショッピング戦略</p>	<p>「販路拡大」と「ヒット商品創出」を両輪に事業規模の拡大に努め、収益性向上を図る</p>
<p>MediaCity</p> <p>④ メディアシティ戦略</p>	<p>東京ドリームパーク (2025年竣工・2026年春開業) 等拠点に、自社IPを活用したリアルイベント等で増収を図る</p>
<p>⑤ 新領域開拓</p>	<p>コンテンツを活用した新たなビジネス領域に果敢に挑戦する (アニメ・ゲーム、メタバースなど) ⇒アニメ枠を増設する方向で作業中</p>

- ・コンテンツ強化
- ・地上波でのシェアアップ
⇒厳しい環境のなか**成長実現**

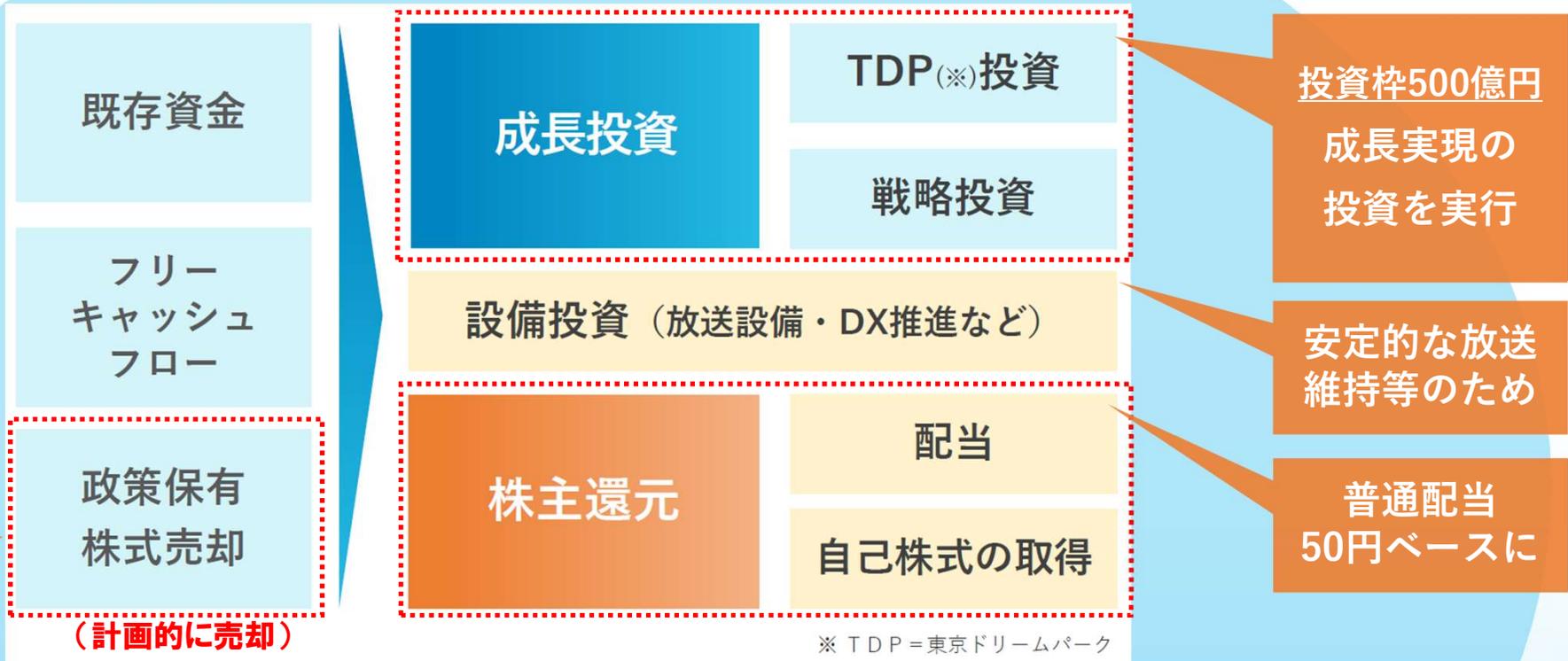
- ・成長領域
- ・コンテンツ強化をベースに“インターネット”を中心にあらゆるコンテンツを展開
- ・“メディアシティ”ではリアルイベントを中心にIPビジネスを展開
⇒ **大きな成長**を目指す

- ・新規IPビジネスを開発
⇒ **次なる成長**につなげる

【取組事例】 BookLive・壽屋との資本業務提携、オリジナルスマホゲーム「メテオアリーナ」開発 (24夏ローンチ予定) 等

地上波の深化 + 成長領域の進化等でROE向上を実現!

施策② 経営計画で掲げる“財務戦略”の推進



政策保有株式の売却状況

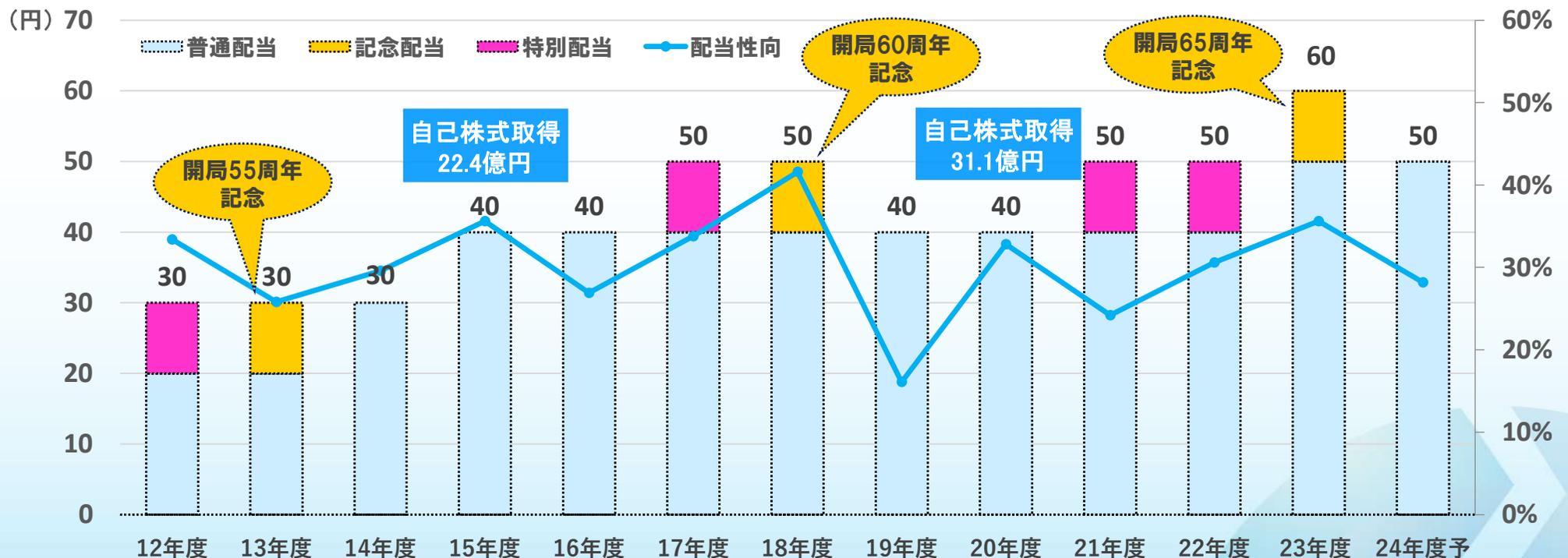


【B/S効率化】【成長投資】を成長・還元強化の好循環へ

施策③ 株主還元強化

- 普通配当50円／株をベースにさらなる還元強化を検討
- 制限比率を超える外国人等株主にも配当支払実施
- 自己株式の取得も継続的に検討

株主還元推移



施策④ 情報発信強化

- 「統合報告書」発行予定(24年秋予定)
- くわえて情報発信体制の強化を図る

サステナビリティへの取り組み

【直近の主な取り組み(2024年～)】

- 「テレビ朝日グループ 人権方針」を策定(2024年2月)
- サステナビリティ委員会を開催(2024年3月)
気候変動への対応、人的資本、人権方針などに関する取り組みや課題を審議
- 2022年5月に策定した「5つの重点テーマ」を更新(2024年4月)
- 「2023年度サステナビリティ活動報告」を開示(2024年4月) ※以下一部紹介

環境

- 美術セット廃材再利用「art to ART Project」
- TCFD

テクノロジー

- カメラ映像を自動で切り替えるスイッチングシステムを開発
- 現実世界とバーチャル空間を融合する「メタバースXRプロダクション」を開発

コンテンツ展開

- ◆ 環境問題を取り上げ、自然災害情報をアーカイブ化し提供
- ◆ 特別番組「発進！ミライクリエイター」
- ◆ 「未来をここから×SDGs」ウィーク
- ◆ 国連気候変動キャンペーン2023 参加
- ◆ BS朝日「バトンタッチ・SDGsはじめています」「地球クライシス」シリーズ

ガバナンス

- 監査等委員会設置会社
- 指名・報酬委員会(委員長は社外独立役員)
- HD独立社外取締役 5名(33.3%) / 女性取締役 2名(13.3%)
(テレビ朝日における女性役員4名(16.7%))

教育

- 総合学習支援
- 「学び」と「エンタメ」のオンラインフェス「SOZOW FES 2023 Summer with テレビ朝日」

ダイバーシティ

- 人的資本に関する方針
- 女性活躍推進(出産育児制度、ジョブリターン制度、30% Club Japanなど)

業績予想

(単位:百万円)

	23年度実績	24年度予想	前期比	増減率
売上高	307,898	309,000	+ 1,102	+ 0.4%
テレビ放送事業	226,524	223,800	△ 2,724	△ 1.2%
インターネット事業	26,258	27,200	+ 942	+ 3.6%
ショッピング事業	19,991	20,400	+ 409	+ 2.0%
その他事業	35,125	37,600	+ 2,475	+ 7.0%
営業利益	12,337	13,000	+ 663	+ 5.4%
テレビ放送事業	5,971	5,000	△ 971	△ 16.3%
インターネット事業	2,272	2,500	+ 228	+ 10.0%
ショッピング事業	1,434	1,900	+ 466	+ 32.5%
その他事業	2,771	3,600	+ 829	+ 29.9%
調整額	△ 112	—	+ 112	—
経常利益	19,919	20,000	+ 80	+ 0.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	17,138	18,000	+ 861	+ 5.0%

取締役 角南 源五

連結業績

(単位:百万円)

	2022年度	2023年度	前期比	増減率
売上高	304,566	307,898	+ 3,332	+ 1.1%
テレビ放送事業	232,669	229,626	△ 3,043	△ 1.3%
インターネット事業	25,455	28,761	+ 3,305	+ 13.0%
ショッピング事業	19,490	20,003	+ 513	+ 2.6%
その他事業	40,442	44,683	+ 4,241	+ 10.5%
調整額	△ 13,490	△ 15,175	△ 1,685	—
営業利益	14,503	12,337	△ 2,165	△ 14.9%
テレビ放送事業	9,586	5,971	△ 3,615	△ 37.7%
インターネット事業	1,403	2,272	+ 869	+ 62.0%
ショッピング事業	867	1,434	+ 567	+ 65.4%
その他事業	2,607	2,771	+ 164	+ 6.3%
調整額	38	△ 112	△ 151	—
経常利益	23,157	19,919	△ 3,237	△ 14.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	16,603	17,138	+ 534	+ 3.2%

テレビ放送事業

	2022年度	2023年度	前期比	増減率
(単位:百万円)				
売上高	232,669	229,626	△ 3,043	△ 1.3%
タイム収入	81,558	78,744	△ 2,814	△ 3.5%
スポット収入	90,414	88,149	△ 2,264	△ 2.5%
番組販売収入	13,039	13,662	+ 622	+ 4.8%
BS・CS収入	26,070	26,304	+ 233	+ 0.9%
その他収入	21,585	22,765	+ 1,179	+ 5.5%
営業利益	9,586	5,971	△ 3,615	△ 37.7%

タイム収入(地上波)

(単位:百万円)	2022年度	2023年度	前期比	増減率
上期	38,500	39,247	+ 747	+ 1.9%
下期	43,058	39,496	△ 3,562	△ 8.3%
通期	81,558	78,744	△ 2,814	△ 3.5%

主な増減要因

- 【レギュラー】アドバイザーの広告費の弾力運用がある中、人気番組のセールスは堅調に推移
- 【単発】「世界水泳福岡」「FIBAバスケットボールW杯2023」等に加え、「友情」「万博ガール」「黄金の刻」等大型ドラマのセールスが成功したが、前期の「FIFAワールドカップ カタール 2022」「WBC」の反動減により減収

スポット収入(地上波)

(単位:百万円)	2022年度	2023年度	前期比	増減率
上期	42,615	40,287	△ 2,327	△ 5.5%
下期	47,799	47,861	+ 62	+ 0.1%
通期	90,414	88,149	△ 2,264	△ 2.5%

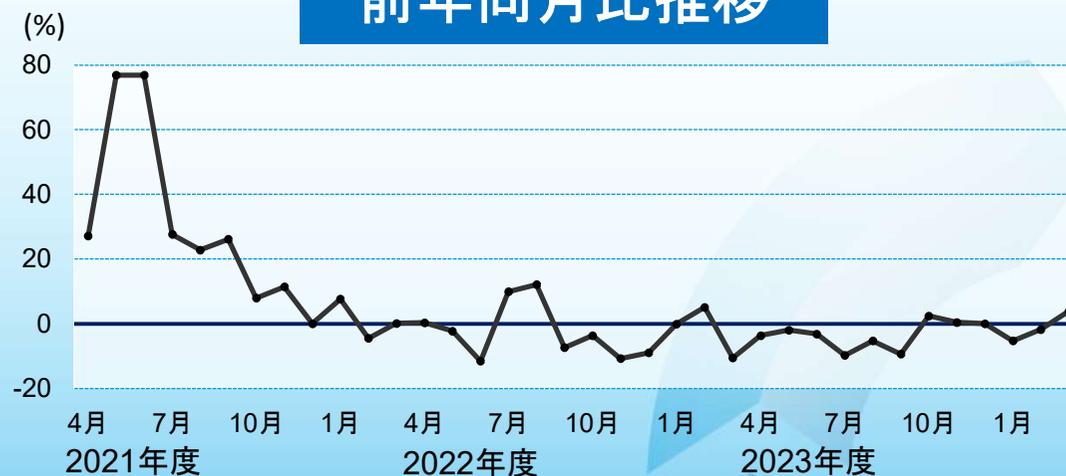
東京地区投下量シェア

2023年度 **23.2%**

(前期比 +0.8 pt)

※ シェアについては推計

前年同月比推移



番組制作費(地上波)

(単位:百万円)	2022年度	2023年度	前期比	増減率
上期	36,080	39,492	+ 3,412	+ 9.5%
下期	41,242	39,607	△ 1,634	△ 4.0%
通期	77,323	79,100	+ 1,777	+ 2.3%

主な増減要因

- 【レギュラー】 枠変更やコンテンツ強化等に伴い弾力的に運用
- 【単発】 「世界水泳福岡」「FIBAバスケットボールW杯2023」「AFCアジアカップカタール」等により増加

インターネット事業

(単位:百万円)	2022年度	2023年度	前期比	増減率
売上高	25,455	28,761	+ 3,305	+ 13.0%
営業利益	1,403	2,272	+ 869	+ 62.0%

TELASA

テレ朝▶見逃し

TVer


ABEMA®
TV&VIDEO ENTERTAINMENT

UltraImpression

テレビ朝日 デジタル広告関連収入

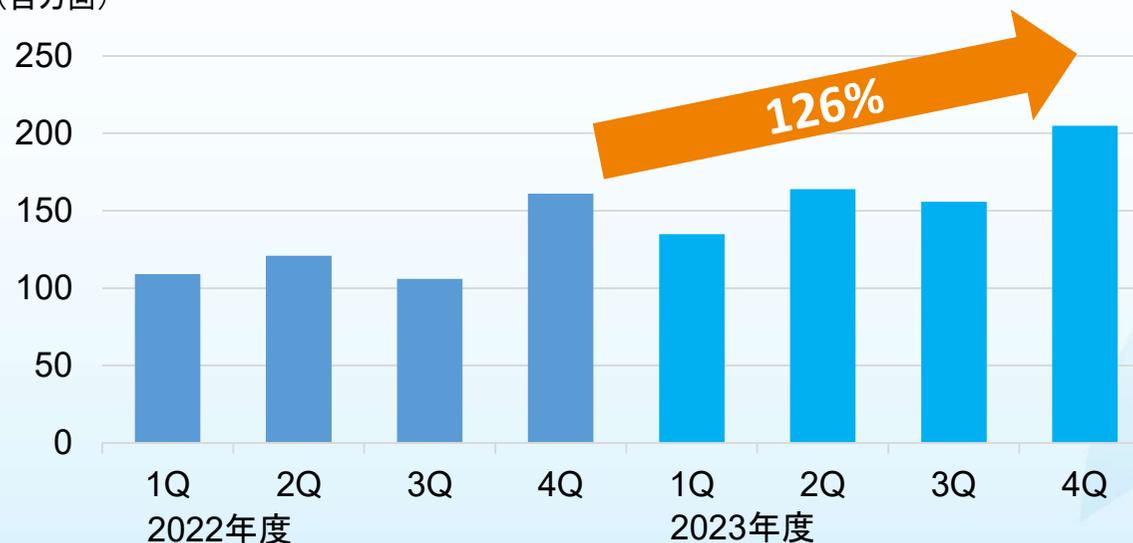
<デジタル広告関連収入（TVer等）>

（単位：百万円）

2022年度	2023年度	前期比	増減率
4,528	5,873	+1,344	+ 29.7%

<テレビ朝日 見逃し配信再生回数（TVer）>

（百万回）



ショッピング事業

(単位:百万円)	2022年度	2023年度	前期比	増減率
売上高	19,490	20,003	+ 513	+ 2.6%
営業利益	867	1,434	+ 567	+ 65.4%



その他事業

(単位:百万円)	2022年度	2023年度	前期比	増減率
売上高	40,442	44,683	+ 4,241	+ 10.5%
営業利益	2,607	2,771	+ 164	+ 6.3%

<主なその他事業収入>

(単位:百万円)

	22年度	23年度	前期比	増減率
音楽出版	9,821	11,647	+ 1,826	+ 18.6%
イベント	8,157	9,465	+ 1,308	+ 16.0%
機器販売・リース料	5,608	6,469	+ 861	+ 15.4%
出資映画	3,996	4,367	+ 370	+ 9.3%
DVD	1,753	669	△ 1,084	△ 61.8%

その他事業 増減要因

音楽出版	<ul style="list-style-type: none">● 「ケツメイシ KTM リクエストライブ【ケツメ兄さん達と一緒に歌おう2023】」、「湘南乃風 20周年記念TOUR2023」、「平井大 THE BEACH TRIP 2023」など大型イベントやグッズ販売が大きく貢献● 「新しい学校のリーダーズ」の配信売上も好調に推移し、<u>増収増益</u>
イベント	<ul style="list-style-type: none">● コロナ禍前の公演数に戻りつつある中、恒例の大型イベントに加えて、番組関連イベントなどの開催規模を拡大し、大幅な<u>増収増益</u>
機器販売・リース	<ul style="list-style-type: none">● イベント・コンサート開催の増加に伴い機材レンタルなどが増加し、<u>増収増益</u>
出資映画	<ul style="list-style-type: none">● 「しん次元！クレヨンしんちゃん THE MOVIE 超能力大決戦～とべとべ手巻き寿司～」の興行収入が過去最高を記録し、24年3月公開「映画ドラえもん のび太の地球交響楽」も好調に推移していることなどから<u>増収増益</u>
DVD	<ul style="list-style-type: none">● 前期にあった多数のヒット作のラインアップの反動減などから <u>減収減益</u>

設備投資・減価償却費

設備投資

(単位:億円)

	22年度	23年度	前期比	増減率	24年度 (予想)
連結	152.8	175.7	+ 22.8	+ 15.0%	354.0
テレビ朝日	143.2	159.5	+ 16.2	+ 11.4%	338.0

減価償却費

(単位:億円)

	22年度	23年度	前期比	増減率	24年度 (予想)
連結	101.4	98.2	△ 3.1	△ 3.1%	97.0
テレビ朝日	83.4	80.1	△ 3.3	△ 4.0%	78.0

業績予想

(単位:百万円)

	23年度実績	24年度予想	前期比	増減率
売上高	307,898	309,000	+ 1,102	+ 0.4%
テレビ放送事業	226,524	223,800	△ 2,724	△ 1.2%
インターネット事業	26,258	27,200	+ 942	+ 3.6%
ショッピング事業	19,991	20,400	+ 409	+ 2.0%
その他事業	35,125	37,600	+ 2,475	+ 7.0%
営業利益	12,337	13,000	+ 663	+ 5.4%
テレビ放送事業	5,971	5,000	△ 971	△ 16.3%
インターネット事業	2,272	2,500	+ 228	+ 10.0%
ショッピング事業	1,434	1,900	+ 466	+ 32.5%
その他事業	2,771	3,600	+ 829	+ 29.9%
調整額	△ 112	—	+ 112	—
経常利益	19,919	20,000	+ 80	+ 0.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	17,138	18,000	+ 861	+ 5.0%

広告収入 (地上波)

タイム	スポット	広告収入計
△ 0.6%	+ 0.2%	△ 0.2%

番組制作費 (地上波)

(単位:百万円)

24年度予想	前期比
78,500	△ 0.8%

資料に記載されている当社の計画、見通しなどのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報から作成されたものであり、何らの保証やコミットメントを与えるものではありません。

実際の業績は様々な重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

<https://www.tv-asahi.co.jp/IR/>

IRホームページの充実にも努めております。ぜひ一度ご覧ください。

